
恋愛...条件

N N A

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

恋愛：条件

【Nコード】

N9013F

【作者名】

NNA

【あらすじ】

恋することが出来ないさき…でも、蓮に出会い考えが変わったところ
がさきと蓮の間に…

好きになるのに理由なんてあるのかなあ？

…カッコイイから好きになるの？

好きだからかつこよく見えるの？

何がなんだか…さっぱりわからない。

うちは今まで沢山恋をして来た。

初恋の時…小2で勇気が出せなくて片思いのまま終わってしまった。
もうそんな恋はしなくて…好きになるのをやめた。

だから、恋愛は自分からはしてない。カッコイイとか好きなのかな
とか思うことはあったけど、大体は相手のほうから告白して来たら
キモい奴以外は大体はOKしてきた。

けど…好きになることが出来なくて。

でも…たった一度だけ信じて好きになった人がいた。

でも浮気されて終わった。

わかんないよ…。

自分から告白してきといて飽きたら捨てるって…。

そんなんするなら告白しないだよ。

出来ないなら簡単に『ずっと一緒にいる』とか軽い口約束しないで
よ…。

もっつちは恋をすることは出来ない。

そう思っていた。

中学2年

『さき…また告られたの？』

いつも聞いてくるのはうちのとも達の彩だ。

『うん。タイプじゃなかったからフツたけどね笑っ』

毎回この話から始まるうちの会話。

それに毎回同じ答えを言う。

飽きたこの話…

うちの名前は

山本さき

見た目はごく普通の中学生。

でも、人を好きになることが出来ない女だ。

『山本さん、あの人が呼んでるよ』

一人の女がうちを呼んでくる…。

またかあ…。

『何ですか？』

『俺と付き合ってよ』

こいつは転校して来た隣のクラスの 桜井蓮

顔はイケメンらしくて、性格も良いみたいだけど…：うちは興味ない！
初めて会ったときも告られたがフツた。

何度目だろう…

『何回言ったらわかるんですか！うちはあなたとなんか付き合いま

せん！じゃあ』

…あの人しつこい
何度いつてもわからない人だなあ…

『さき…あの人何回目笑っ』

『笑い事じゃないよ…あの人しつこすぎ…』

何なのあの人なんであんなに付きまとってくるの？
迷惑だし。

『さき帰ろう！プリ撮り行こうよ！』

『良いよお！』

『さき、彩ばいばあい』

『ばいばあい』

部活ある子は大変だなあ。

『さき。』

『ん？』

彩なんか変だよ？

何かいるの？

周りを見渡すと…

そこにはうちの元カレ拓也と…蓮？拓也は中1のときの彼氏浮気されて別れたけど…けどなんで蓮と？…どうして？

『蓮お前さきとは付き合えるのか？笑っ

あいつなんか調子のとてきてんぞ』

『…』

『お前あいつと1ヶ月付き合えるかの賭け忘れんなよ？笑っ』

…っ何あいつ！

あつたまきた（怒）

『ざけんなっ！』

『さき（汗）』

『は？』

は？じゃないし！

『遊びで付き合ってたわけ？』

『だったらなんなんだよ！別にいいじゃん！おまえはそれで満足だったら？笑っ』

『最低っ！開き直んな！だから、浮気性が直ないんだよ！馬鹿』
『…こいつ』

むかつく！

『拓也もさきに謝りなよ。』

彩…

『彩良いよ…』

『でも…』

『もうこんな奴とはとっくに別れてるから！
縁も切れてるし！』

そんな事より…蓮見損なった。うちあんと付き合わなくてよかった

た　じゃあね！』

『ちがつ…』

『彩行こう…』

『…うん』

うちの性で彩を泣かせたんだ…
ごめんね…

数日後

あゝもう！

あの事があってからホンとストレス溜まってる！

『山本隣のクラスの蓮が呼んでるぞ？』

…来た…

もう顔見たくなかったのに…

『さき私行こうか？』

『大丈夫！ちよつと行ってくる。』

…なんなんだよお

『何？』

早くしてよ！！！！

『…昨日はごめん』

『何がごめんなわけ？』

あんた自分がした事わかってんの？』

『わかてる。ホンとにごめん』

はあ…どうすれば良いかわかんないよ…

『…良いよ。でも、理由教えて…』

『ありがとう。拓也は小学校からの友達なんだ…で…中1の時拓也とさきが一緒に歩いてたところ見て、さきに一目惚れした。俺がこっちに転校することが決まって、拓也に知らせに言ったんだ。

その時お前らが別れたって聞いて、俺拓也に

「俺コクっていい？」って聞いたらあいつ

「やめとけって」言ってきた…

そこで賭けをあっちが賭けてきたわけ。

信じてくれるかなあ？』

事実なんだ…蓮は嘘ツイてない…

『信じるよ！ねえ…今日拓也と会う約束してる？』

『？してるけど』

『うちも連れてって！』

『えっ…でも』

『お願い！』

『…わかった。』

『ありがとう！』

あいつにとことん文句言ってやる！

待ってるオ！ 放課後

キンーコンカーンコン

よしっ！

『さき。』

『今行く待って！』

『さき…ホンとに行くの？』

『うん…彩うちも決着つけてくるよ！』

『そっかあ…わかった。いってらっしゃい！』

彩…

『いってきます！』

彩…彩はいつもうちの事を一番に考えてくれるね。
ありがとう…うち甘えてばかりだね…
ごめんね

『さき？さき！』

はっ！

『ごめん…』

『大丈夫？』

『うん』

自分の世界に入りすぎた…危ない

『拓也！』

！！！

『おう！…』

空気悪！

『話ってなんだよ！』

腹立つ言い方…

『他にいう事ないわけ？』

謝れつつの！（怒）
たく！

『…ごめん』

以外！

こいつが謝った！
…って驚いてる場合じゃない！

『あんたにうちの気持ちわかる？
どれだけうちが傷ついたと思ってんの？ そっちから告白して、
二股かけて！
それで別れた後嫌がらせ！いい加減にしてよ！』

やばい…泣くっ…

『さき…拓也俺絶対さきを彼女にする！』

なっ…！！！！

『お前と違って俺はさきを傷つけない！』
…勝手にしろ。俺は帰るから』

…

『蓮…うち蓮が好き!』

『俺も!これでやっとな思いだ!!』

さき…』

『ん…』

ちゅっ

蓮との初めてのキス…

今から新しい恋が始まる。

『いつてきまあす』

ボタン

『おはよ!さき!』

蓮だあ〜!

『おはよお!』

『…さき?』

『彩おはよお!』

『じゃあ俺先行ってるね!』

ああ…行っちゃった…

『さき!付き合うことになったんだあ!』

かあ

『顔真つ赤だよ？笑っ』

『うるさあい！』

恥ずかしい！

授業めんど…

蓮に会いたいな…

無理だけど。

寝よ！！

キンーコンカーン

『ふぁー…疲れたあ〜』

『さきずっと寝てたじゃん！笑っ』

『まあね！笑っ』

もう授業は終わったし、帰ったら寝よ。

『さきい！一緒に帰ろうぜ！』

蓮だ！

帰りたい！でも…彩いるからなあ

『蓮君と帰りな！私は大丈夫だからあ』

『ありがとお！』

『彩ちゃんごめんねえ』

『良いけど、さきを傷つけたらただじゃ置かないよ？笑っ』

『わかりました！笑っ』

彩…ありがとう。

『ねえ、明日クリスマスイヴじゃん？一緒に過ごさねえ？』

『過ごす！過ごす！』

『じゃあ…、俺っち泊来る？』

…えっ…

『無理にとは言わないから』

『…行く。行くよ！』

『じゃあ、明日迎え来るな！じゃあな！』

『うん！ばいばあい！』

良いんだよね？

『ただいまあ』

『おかえり』

お母さんに言わなくちゃ！

『お母さん明日から2日間泊行っている？』 『良いよ。行ってきた』

『ありがとう』

お母さんありがとう…

イヴ

『行ってきますっ！』

『さき！おはよお』

私服やつぱかつこいい！

『おはよお』

『俺ち親2日間居ないんだ…いい？』

…！！！！

いないって事は…2人きり！！！！

『良いよお』

『さき…』

『蓮…』

うちらは1つになった。

心も体も…

蓮大好きだよ…

クリスマス

『ん…もう朝かあ…』

そうだうちは昨日…

なに一人でテレ照るんだろ！

『蓮？』

ピンポン…

蓮かなあ？

『はい！』

…

『警察ですけど…山本さきさんですね？』

『そうですけど…』

『あなたの彼氏さん桜井蓮さんは…交通事故で亡くなりました…』

っ！

『お巡りさん冗談きついですよ』

『…』

『ホントに蓮が…』

『残念ながら…』

うそ…うそ

『蓮…ウワァーン』

蓮…嘘でしょ。

どうして蓮が…

許さない！

『蓮を殺したやつは誰なんですか！うちそいつ殺す！』

『逮捕されました…蓮さんは道路に飛び出した男の子を助けて…』

『さき？さき？』

『ここどこ？』

『病院よ。あなた2日も眠ってたのよ』

『お母さん…蓮は』

『…今日お葬式よ…』

ホントに蓮はいなくなっちゃったんだね…
うちはあなたいなきゃダメなのに…

『さき…』

『彩…きてたんだ』

『うん…さき。大丈夫？』

『大丈夫』

彩目が赤いよ…
彩も泣いたんだ…
たくさん…

『さき…お母さん達先帰るわね』

『さきちゃん？』

『…え』

『蓮の母です。』

『どうも』

蓮のお母さんがうちになんの用かなあ

『これを渡したくて…』

『何ですか？これ』

『私にも中身はわからないの…』

何となくさきちゃんに渡さなきゃと思って』

『ありがとうございます。』

そうだ…さっき貰った箱の中身見てみよ…

写真…2人で撮ったやつだ…クリスマスプレゼント…
うちにくれるはずだったやつだ…

ん？

手紙

「さきへ

この手紙をさきが読んでるって事は俺はもう…居ないんだな…

ずっと黙ってたけど…俺癌なんだ…

情けないよな。

20歳まで生きられないって…

俺は何歳だったんだろうな…

俺…さきに会えてよかった！
好きだよ…今でも好きだよ…

俺は空からさきをいつも見守ってるからな…

たくさん恋しろよ？

おまえの横にいるのが俺じゃなくて悔しいけど…

しょうがないよな…

幸せになれよ…

じゃあな

蓮
」

蓮…

何で黙ってたのさ…

知ってたらもつと…

蓮…うち幸せになるね

20年後

蓮…うちは沢山恋してるよ…

あなたが居れば幸せで堪らないくらい

うちはあなたの分まで幸せになるよ…

E
N
D

蓮
:

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9013f/>

恋愛...条件

2010年11月23日04時34分発行